

# 関西防災・減災プランの概要

## 総則編

### I プランの趣旨

関西広域連合規約等に基づき、大規模広域災害時の広域連合の対応方針や手順を定めるプランを策定する。

(策定方針)

- (1) 阪神・淡路大震災、東日本大震災等の経験・教訓を踏まえたプラン
- (2) 府県民にわかりやすいプラン
- (3) 充実・発展型のプラン

(コラム・特徴)

- (1) 全国初の本格的な広域にわたる防災・減災プラン
- (2) 「受援」のあり方に踏み込んだプラン
- (3) 「初動対応」、「応急対応」に加え、「復旧・復興」過程を含めてシナリオ化したプラン
- (4) 広域連合のみならず防災関係機関の対応を網羅し、災害対応オペレーションの全体像を明示したプラン
- (5) 構成府県、市町村だけでなく、企業、ボランティア団体、府県民と連携・協力を進めるプラン
- (6) 未曾有といわれた2つの大震災の教訓を盛り込んだプラン

(コラム・広域連合だからできること)

### II 対象災害

被害が複数府県にまたがり、または単独の府県でも被害の規模が甚大で、広域的な対応が必要とされる大規模広域災害

(具体例)

- ・地震・津波災害…東海・東南海・南海地震などの海溝型地震、生駒断層帯地震などの近畿圏直下型地震
- ・風水害…伊勢湾台風級の台風の大坂湾への接近による高潮災害、琵琶湖・淀川等の大河川の洪水氾濫、集中豪雨による広範な内水氾濫及び土砂災害
- ・原子力災害…原子力発電所事故
- ・感染症…新型インフルエンザのまん延、高病原性鳥インフルエンザのまん延
- ・その他広域的な対応が必要とされる災害

### III 広域連合の役割

- (1) **大規模広域災害時の広域的対応指針の提示**  
大規模広域災害発生時の広域連合、構成府県の広域対応指針を初動、応援・受援、復旧・復興シナリオとして提示
- (2) **応援・受援の調整**  
国や関係機関・団体等と連携を図りながら、広域的な応援・受援の調整を行い、関西が一体となった災害対策を実施
- (3) **災害情報の共有、情報の発信**  
情報収集、整理・集約及び構成府県、連携県への情報提供。被害状況や広域連合・構成府県・連携団体の対応、被災住民の行動について府県民にメッセージ等を発信。
- (4) **災害に備えるための事業の企画・実施**  
関係機関・団体等との平常時からの連携、防災・減災事業を企画・実施

## 地震・津波災害対策編

### I 被害想定 (東海・東南海・南海地震、生駒断層帯地震などの近畿圏直下型地震の被害想定)

### II 災害への備え

#### ■ 関係機関・団体等との平常時からの連携

構成府県、広域連合他分野、連携県、全国知事会、国、研究機関及び企業・ボランティア等と連携して対処するための体制整備を行う。

- (1) 構成府県との連携
- (2) 広域連合他分野局との連携
- (3) 他の広域ブロック等との応援協定
- (4) 国との連携
- (5) 専門家・防災研究機関等との連携
- (6) 企業・ボランティア等との連携

#### ■ 防災・減災事業の展開

災害による被害の発生の防止及び被害の軽減を行う先導的な防災・減災事業を実施する。

- (1) 災害対応体制の整備
- (2) 訓練・研修の実施
- (3) 津波災害対策の推進
- (4) 孤立集落対策の実施
- (5) 地域防災力の向上
- (6) 消防団の広域応援体制の検討
- (7) 防災基盤整備・防災まちづくり等の促進

### III 災害への対応

#### ☆ 初動シナリオ

大規模広域災害発生時に情報収集すべき事象をあらかじめ定め、緊急派遣を行って支援ニーズを把握し、応援体制を確立する。

- (1) 情報収集体制の確立
- (2) 緊急派遣チーム(先遣隊)の派遣
- (3) 応援・受援体制の確立
- 初動期オペレーションマップ

#### ☆ 応援・受援シナリオ

応急対応期に円滑な応援・受援が実施されるよう、被災自治体はもとより、応援自治体、関係機関等との調整を行う。

- (1) 情報の収集・提供
- (2) 現地支援本部・現地連絡所の設置
- (3) 被災者の支援
- (4) 救援物資の需給調整
- (5) 応援要員の派遣・受入調整
- 応急対応期オペレーションマップ
- (6) 広域避難の受入調整
- (7) ボランティアの活動促進
- (8) 帰宅困難者への支援
- (9) 広域的な災害廃棄物(がれき等)処理の推進

#### ☆ 復旧・復興シナリオ

被災地の復旧・復興にあたり、必要に応じて関西全域の復興指針を示すとともに、阪神・淡路大震災等の復興ノウハウを提供する。

- (1) 復興戦略の策定
- (2) 被災自治体の復興業務への支援
- 復旧・復興期オペレーションマップ

## 原子力災害対策編 (概括的・骨格的計画を今年度策定)

### I 基本的な考え方

- 広域連合の役割  
(国、事業者、関係自治体等の役割、広域連合の役割)
- 原子力災害対策の留意点  
(原子力災害の特殊性、被ばくの低減化対策(防護対策))

### II 被害想定

- 防災・減災プランで対象とする原子力災害
- 事故災害の影響が想定される地域

### III 災害への備え

- 事業者との覚書
- 通報連絡体制の整備
- 広域でのモニタリング状況の把握
- 平常時の情報発信と意識啓発
- 資機材の整備と協力体制の構築
- 広域避難に関する協力要請

### IV 災害への対応

- 災害対応のシナリオ
- 初動体制の確立
- 緊急時のモニタリング
- 放射線物質拡散予測システムの活用
- 広域避難の調整
- 緊急被ばく医療
- 除染活動
- 流通食品対策
- 家畜の移動
- 風評被害対策
- 水質汚染対策

(以下の対策編を、来年度以降順次、同様に作成)

## 風水害対策編

## 感染症対策編